

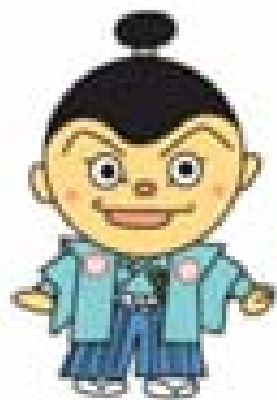
# 高知県新情報ハイウェイを用いた 地域情報化

高知県企画振興部 情報基盤課

平成18年6月30日

# まずは高知をPR

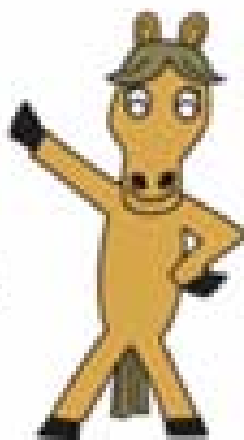
© やなせたかし



おぼこぶくん



ちよちゃん



お馬にぐるくん



土佐の魚 [かつお]

おひさまの味  
高知野菜



みょうがの  
ミョーちゃん



オクラの  
くらちゃん



なすの  
ナコちゃん



きゅうりの  
キューコさん



ししとうの  
シシトくん



こねぎの  
ネギコちゃん



ピーマンの  
ピーくん



しょうがの  
しょうたくん



メロンの  
メロさん



米なすの  
ナスコさん



にら  
ニラコさん

© 高知市農産物振興事業実行委員会・やなせたかし

# 高知の基礎データ

- ・人口減、過疎化、少子高齢化が進行

  - 人口約80万人→2030年には70万人(予想)

  - 高知市に33万人(高知市周辺に約6割が一極集中)

  - 老年人口割合25%(全国3位)

- ・変化に富み、山林の多い地形

  - 森林面積割合 83%(全国1位)

  - 東西に細長く、海岸線が長い

  - 県内移動には、最大6時間かかる

- ・過疎地等の情報通信基盤の格差

  - ブロードバンド世帯普及率 27%(全国47%)

  - テレビ放送(アナログ) 約3万世帯は、共聴施設で視聴

# 情報ハイウェイの基本的な枠組み

## 目的

- ・行政事務、教育・研究、防災、保健・医療等の公共分野の情報化推進(主目的)
- ・ブロードバンド未提供地域の解消
- ・民間による情報ネットワークサービスの活性化

## 内容

- ・広域イーサネットとIP-VPNの両方が利用可能
- ・SLAによる通信品質の確保
- ・アクセス回線料金を県内均一にするためアクセスポイントを各地に設置

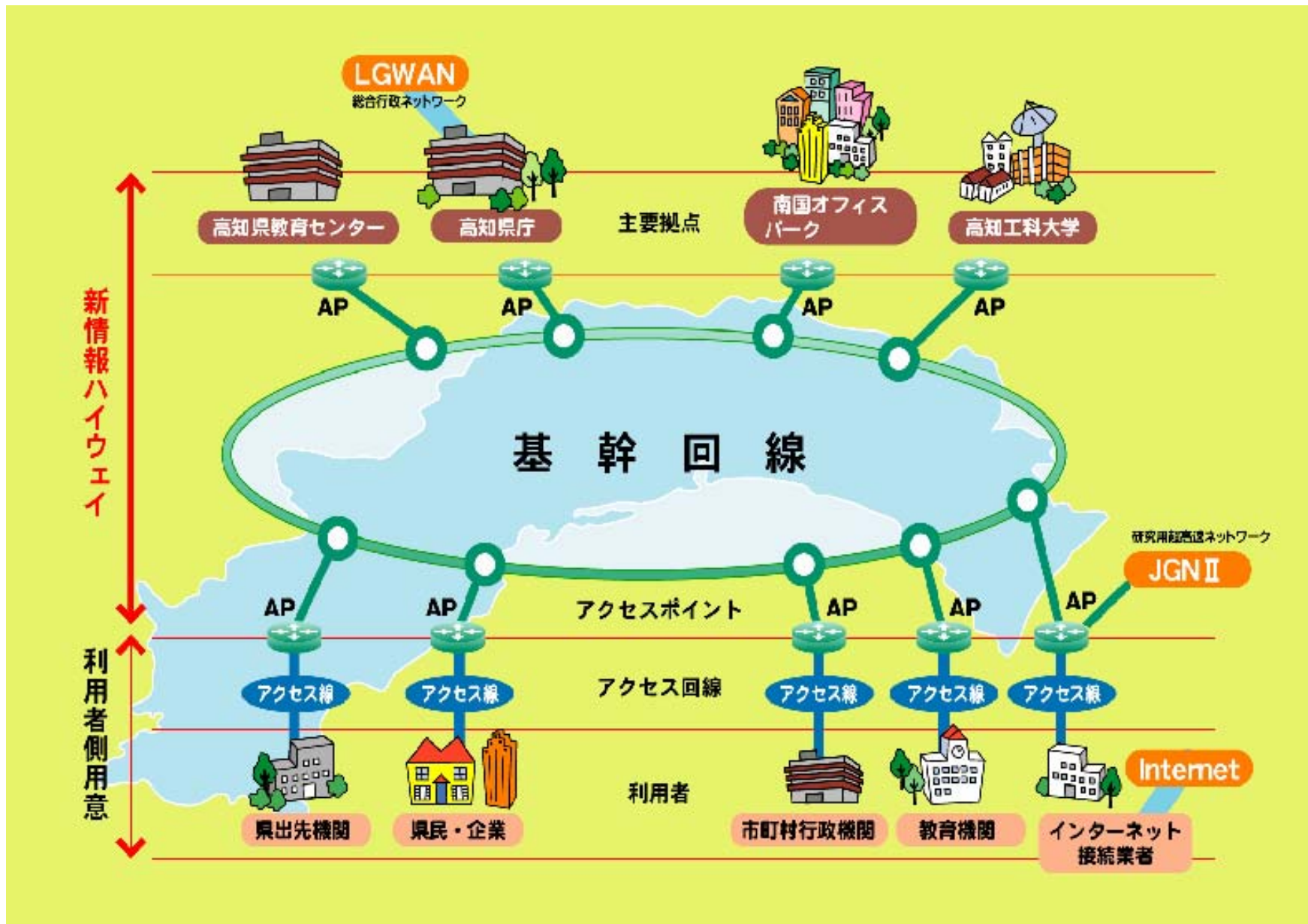
## 構築手法

民間サービスとして調達

## 役割分担

情報ハイウェイ本体は県負担、アクセス回線は利用者負担

# 新情報ハイウェイの概念図





# 主な実績

## ・行政事務、防災、医療分野など（接続先 約250）

県と市町村間の接続、市町村合併

総合防災情報システム

へき地医療の支援

## ・学校、大学（接続先 約500）

山奥にも光回線、公立学校の9割以上がブロードバンド

TV会議などを用いた学校間交流

JGN II とも相互接続

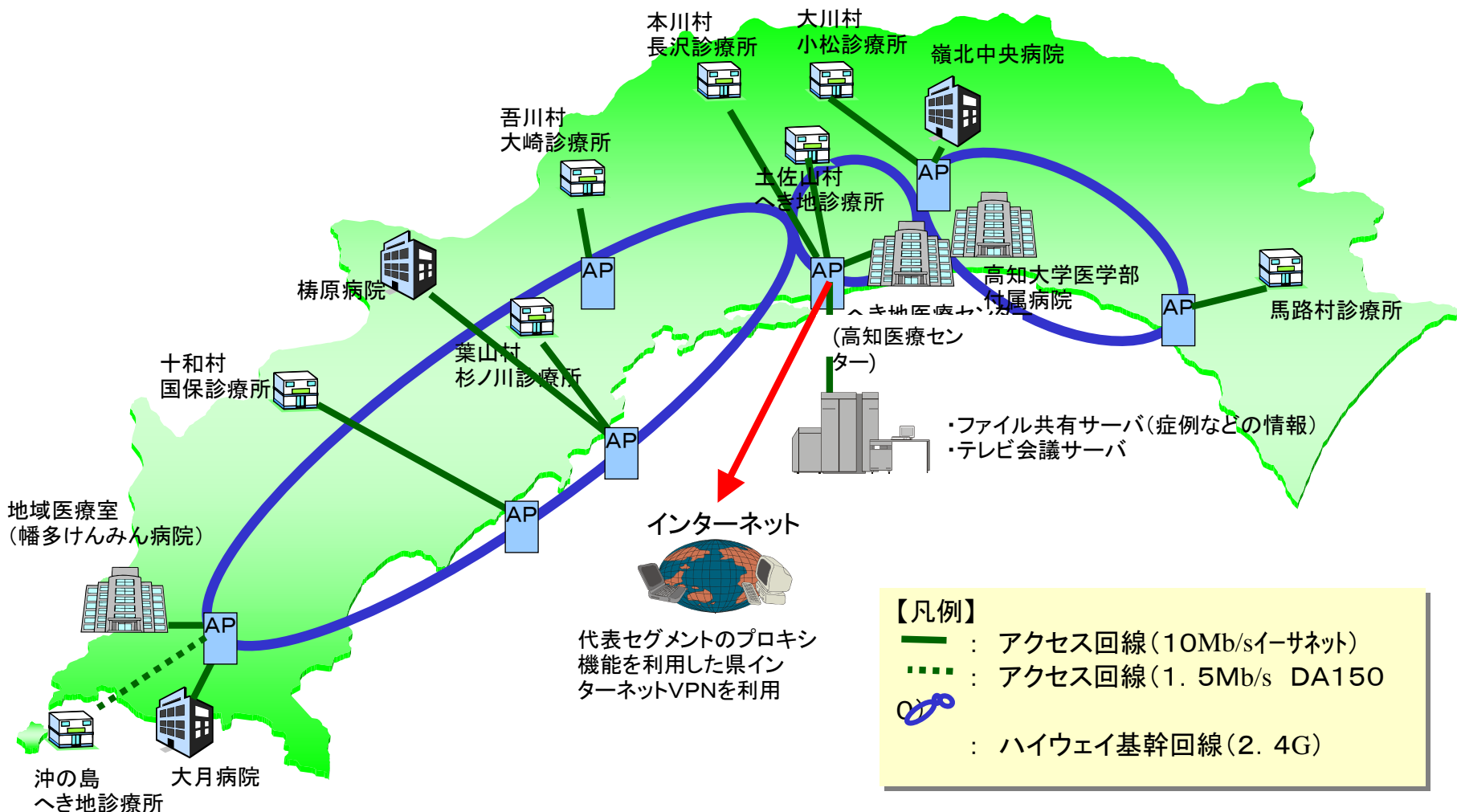
## ・一般企業（接続先 23）

情報関連企業

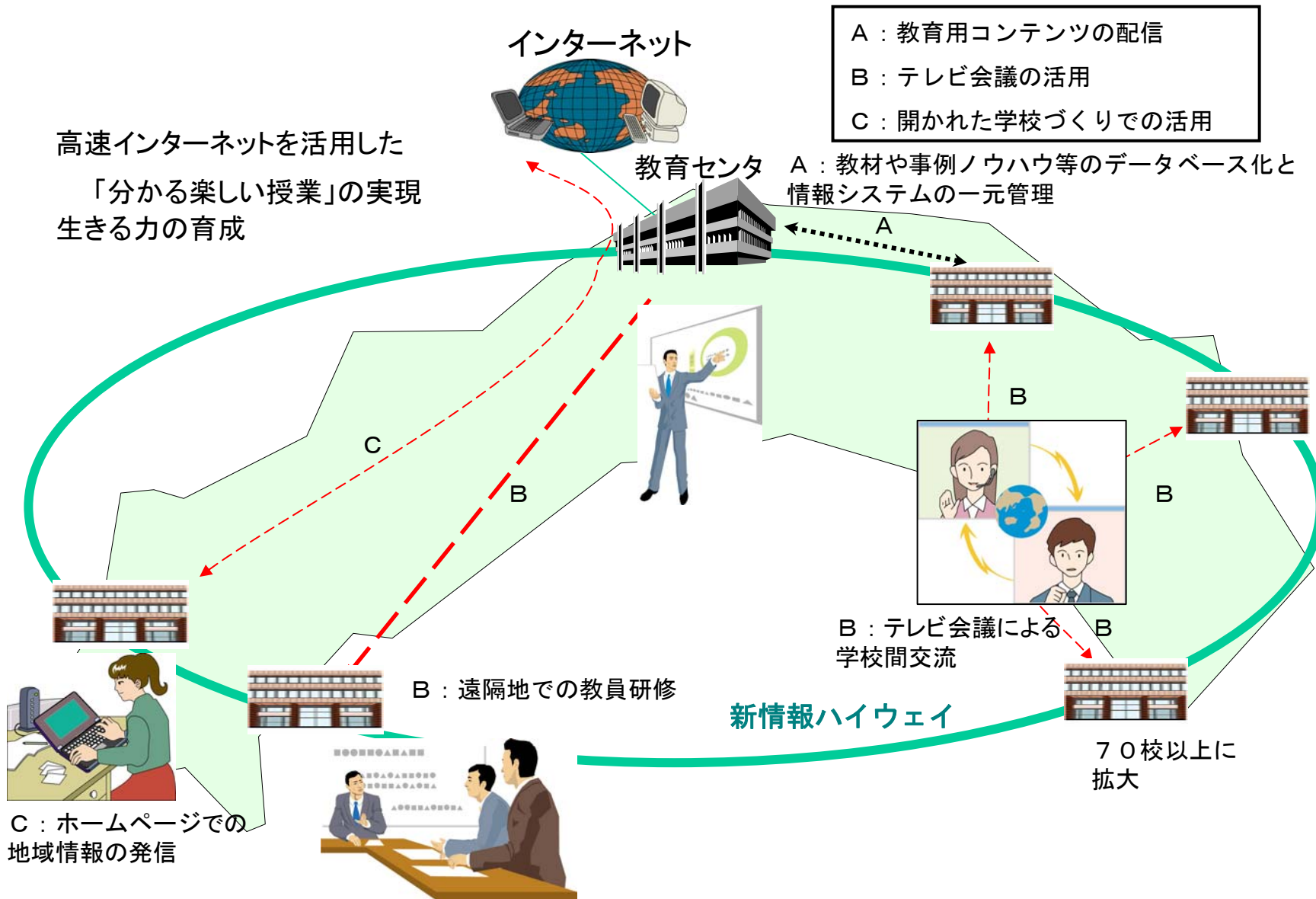
ブロードバンド利用

CATV局間の映像伝送

テレビ会議システムや共有サーバを活用して月例研修会や随時の症例相談／アドバイスなどを実施



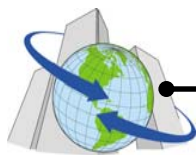




# 新情報ハイウェイの利用状況 民間利用(ブロードバンドサービス)

中山間地域の家庭や企業の未提供地域をカバー

インターネットサービス  
提供事業者



高知AP

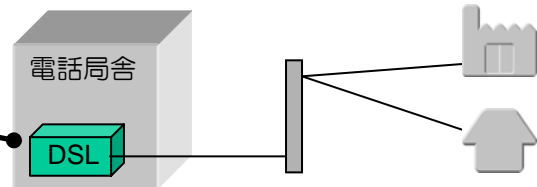
新情報ハイウェイ

AP

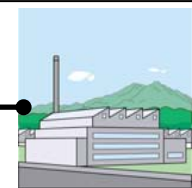
無線



ADSL

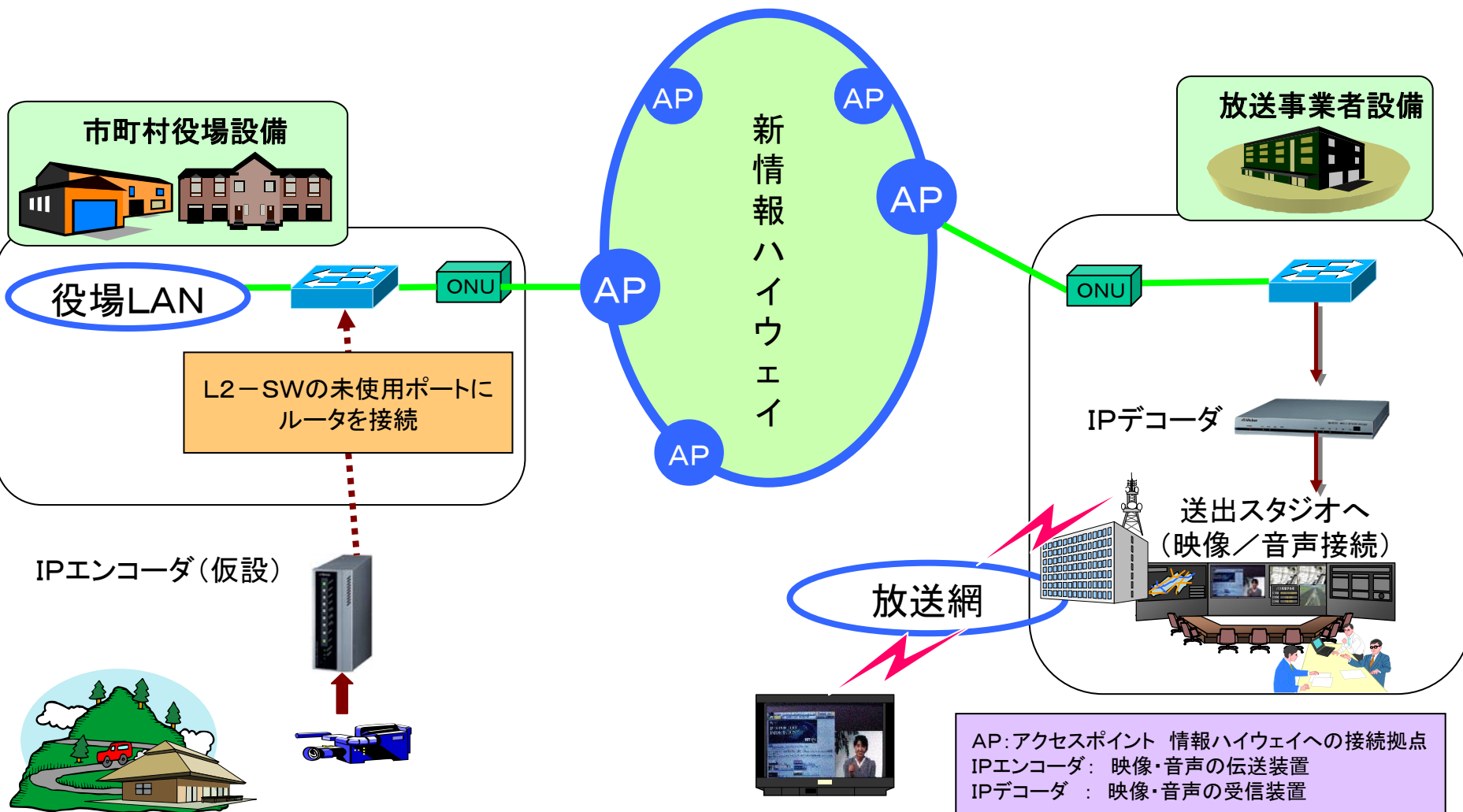


直接接続



タイプ別の特性

	サービス単位	月額料金	利用可能場所
無線	数十ユーザ	数千円	アンテナ見通し2km程度
ADSL	約100ユーザ	数千円	電話局舎から7km程度
直接接続	1ユーザから	数万円	主要な集落



AP: アクセスポイント 情報ハイウェイへの接続拠点  
IPエンコーダ: 映像・音声の伝送装置  
IPデコーダ: 映像・音声の受信装置

# これから

## 公的分野

- ・電子自治体の推進

共同アウトソーシング、共通アプリの活用

- ・教育、研究活動の発展

教員への遠隔研修、全国高専間の遠隔講義(JGN II )

## 民間利用

- ・ブロードバンド未提供地域の解消

条件不利地域の立地企業、テレワーク、一般住民

- ・情報ネットワークサービスの活性化

データセンター利用、地上デジタル放送実験関連など

おわり